

**日本農芸化学会
15年次大会講演発表データベース**

講演番号 2A19p06
分類 一般講演
講演日時 2004/03/29 14:30
会場 A19
演題 鶏卵抗体(IgY)の高度利用その1?抗*H.pylori* urease IgYの作用機序に関する検討
発表者氏名 ○堀江 典子、五島 英雄¹、八田 一²、兒玉 義勝¹、金 武祚
所属 ファーマフーズ研究所、¹ゲン・コーポレーション、²京都女大家政・食物栄養

要旨 【目的】*Helicobacter pylori*(*H.pylori*)は、消化器系疾患の原因菌と言われており、食品素材による除菌効果について様々検討されている。昨年度我々は、抗*H.pylori* urease IgY(以下IgY)添加ヨーグルトを用いた*H.pylori*陽性者への有効性について発表した。本年度は、その作用機序についてin vitro試験による検討を行った。【方法・結果】ムチンをコーティングした24穴のプラスチックプレートに*H.pylori*、*H.pylori*+IgYをそれぞれ添加した。一定時間静置後、洗浄を行いプレート上に残存する菌を検鏡し、評価を行った。また、*H.pylori*由来精製ウレアーゼを用いムチンへの接着をIgYが阻害するか検討した。その結果IgYの添加により、プレート上に接着する菌の減少が認められ、胃ムチンへの付着が阻害されている事が示唆された。

[\[一覧表ページへ戻る\]](#)

[\[検索条件入力画面に戻る\]](#)

Copyright(C) 1997-2011 All rights reserved JSBBA.
Produced by DYNACOM Co.,Ltd.